株主のみなさまへ

第28期中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

あなたを想うサイエンス。

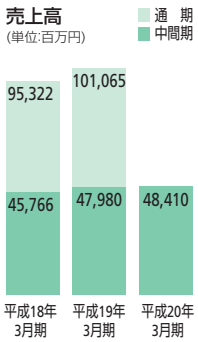
FANCL

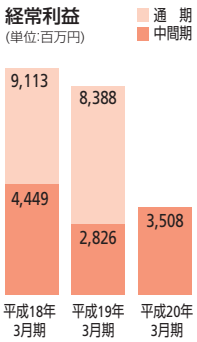
ごあいさつ

代表取締役 社長執行役員 宮島和美（みやじま かずよし）

連結財務ハイライト

	前中間期（百万円）	当中間期（百万円）
売上高	47,980	48,410
販売費・一般管理費	28,338	29,282
営業利益	2,676	3,360
経常利益	2,826	3,508
中間純利益	1,581	1,439
1株当たり中間純利益（円）	24.47	22.45
総資産	84,535	87,521
純資産	72,517	72,530
1株当たり純資産（円）	1,120.28	1,127.49
1株当たり配当金（円）	12.00	12.00





当中間期（平成19年4月～平成19年9月）のファンケルグループの連結決算について概要をご説明申し上げます。

●当中間期の連結業績

会計基準の変更について

当社はお客様へのサービスの一環として、通信販売および直営店舗での購入金額（税込）の5%をポイントとして還元し、次回の購入金額から1ポイント=1円で利用できるポイントサービス制度を導入しております。従来、ポイントサービス利用に伴う売上値引に対応する費用を、ポイント使用時に売上高の控除として計上しておりましたが、前連結会計年度より、発生時に販売費及び一般管理費として計上することといたしました。このため、前連結会計年度と同じ会計基準を採用した場合の当中間期の売上高および利益と前中間期の売上高および利益を比較して算出した前年同期比等に、※印を付けて表示しております。

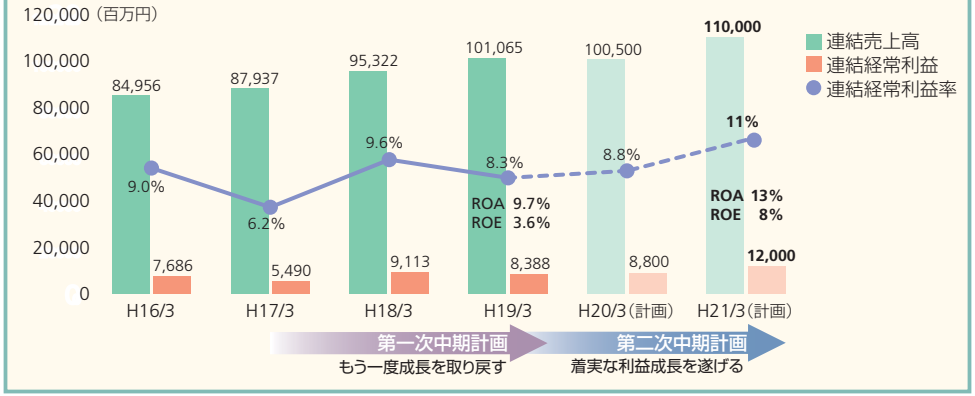
化粧品業界は、アンチエイジングを訴求する基礎化粧品が業態を問わず好調に推移していますが、全体的には横ばいの状況が続いています。健康食品業界は、市場の調整期が続く一方で、表示など安全性に関する行政の監視が厳しくなっており、企業間格差が生じてまいりました。

このような状況の中、ファンケルグループの当中間期の売上高は化粧品関連事業は好調に推移しましたが、栄養補助食品関連事業やその他事業が不振で48,410百万円（前年同期比0.9%増（※3.3%減））となりました。利益率の高い化粧品関連事業が好調だったことおよび広告宣伝費、販売促進費の効率化を図ったことなどにより、営業利益は3,360百万円（前年同期比25.5%増（※29.5%増））、経常利益は3,508百万円（前年同期比24.1%増（※27.8%増））、中間純利益は1,439百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

●通期の見通しについて

通期の見通しにつきましては化粧品関連事業は好調に推移するものの、栄養補助食品関連事業とその他事業は依然減収を見込んでおります。当社は、元気なシニアの生涯の美と健康と生きがいをサポートする企業として、その他事業（発芽米事業・青汁事業・いいもの王国通販事業）を展開してまいりました。今日、高齢化社会にあって、その方向性は正しいと認識しておりますが、これらその他事業が黒字基調となるまでにはまだ時間を要すると考えております。現在策定中の平成21年3月期を初年度とする中期経営計画では、事業スキーム全体の見直しを行い、着実な黒字基調となるよう取り組んでまいります。株主のみなさまにおかれましては、何卒より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第二次中期三ヶ年経営計画　FANCL Change & Challenge Plan Phase2



＜各事業の戦略＞

化粧品関連事業
- 機能性を重視した市場競争力のある製品開発を進める。
- 主力の基礎化粧品はブランドの再構築を行い、敏感肌市場でのシェアの拡大を目指す。

栄養補助食品関連事業
- 高付加価値化を図る。
- 美容補助食品の強化を図るとともに中高年層を対象とした製品開発を進める。

その他事業
- 収益事業への転換を図る。
  - ・発芽米事業、青汁事業は製品ラインナップの拡充により売上拡大を図り、黒字化を目指す。
  - ・いいもの王国通販事業は商品力の強化と経費削減により、収益率の改善を図る。

＜販売チャネル戦略＞

- 各チャネルの強みを生かし、シナジー効果の顕現化を図る。
- 店舗販売、海外展開、最も収益性の高いインターネット販売を強化する。
  - ・店舗販売：採算性の向上を優先事項とし、既存店の活性化を行うとともにコスト管理を徹底する。
  - ・海外展開：中国市場の開拓に注力する。
  - ・インターネット販売：処理能力の拡大、新サービス投入により売上拡大を図る。

進化したファンケルの無添加スキンケア

「肌の負担となる成分を一切使用しない」「製造年月日の明記」など「無添加化粧品」の原点は守りつつ、最新の研究で肌老化を抑制することが判明した当社独自の新成分「スイートピー花エキス」や「フレッシュモイストコラーゲン」を配合。肌へのやさしさはそのままに、「確かな機能性」を実感できる画期的な新スキンケアシリーズが誕生しました。

ファンケルの無添加が守り抜く「5つのこだわり」

1. 肌に負担となる成分を一切使用しない
2. 1ヵ月で使いきれる小容量
3. 鮮度を守る密封容器の使用
4. 新鮮に使用できるフレッシュ期間の設定
5. 製造年月日の明記

新無添加スキンケア誕生まで

きっかけ

電話窓口、アンケート、座談会で集められた15,000名のお客様の声

より良い製品をお届けするため、日々お客様のご意見を参考にしています。「肌へのやさしさ」に加え、「つけた瞬間からわかる効果」を求める声が多く寄せられました。

第1段階

企画開発チームがお客様の声を反映させた製品設計をまとめて、研究チームと相談

無添加の「やさしさ」を守る一方、効果にも徹底的にこだわり、ふっくらやわらか肌を“すぐに”“いつまでも”実感できることをコンセプトに掲げました。

第2段階

研究チームによる試作がスタート。いままでの研究成果と新たな研究課題を検討

さまざまな天然由来の植物から探索した結果、優れたエイジングケア機能をもつ成分「スイートピー花エキス」を発見し、「無添加スキンケア」に配合しました。

第3段階

試作品によるモニターテストを実施

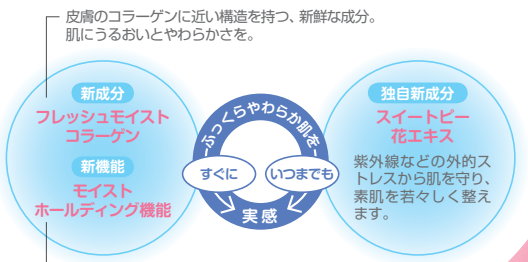
どんな小さなご不満も見逃さず、お一人おひとりのご意見やご要望を反映させて再調整しました。

完成へ

さらに改良を重ねた試作品で再度モニターテストを実施

最終的に多くのお客様のご要望にそった、ご満足いただける製品を目指しました。

生まれ変わった進化のポイント



アイテムが区別しやすいデザインへ

上から見た時も化粧液・乳液の区別がひと目で分かるように、キャップの配色を変更。

誰もが使いやすい完全密封容器

「密封リングキャップ」で簡単に開封できるようになりました。

肌質を問わず、お好みの使用感で製品を選択できる

肌質を問わずにお好みの使用感（「しっとり」「さっぱり」）でお選びいただけます。

1本で昼と夜のケアが可能（24時間ケア）に

新成分「スイートピー花エキス」の配合により、「肌を守る」ケアと「肌を育てる」ケアが同時に行えます。

決め手はスイートピーの花エキス

当社総合研究所は、肌老化を抑制する成分が、スイートピーの花のうち美しい青色が特徴的な「ビューティブルー」に高含有されていることを突き止め、世界で初めて化粧品に配合しました。

無添加スキンケア 製品ラインアップ

無添加スキンケア

うるおい美肌を求める方向けのベーシックライン

ふっくらやわらか肌をすぐに実感。いつまでも実感。

無添加スキンケアDX

積極的なエイジングケアをしたい方向けのライン

製品発売の報告とお礼をかねて、宮崎県東国原英夫知事を訪問した当社代表取締役 宮島 和美

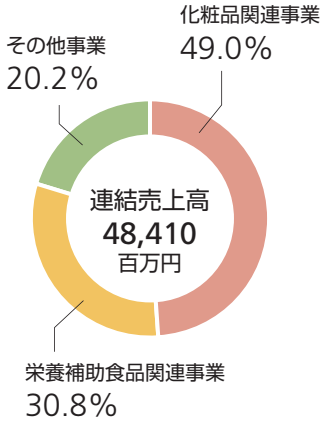
「ビューティブルー」は気候や土質の影響を受けやすく、栽培が難しいスイートピー。日本で最大のスイートピー栽培地の宮崎県の協力を得て、画期的な新製品への配合が実現しました。

プレス発表会にて講演する総合研究所所長 辻 智子

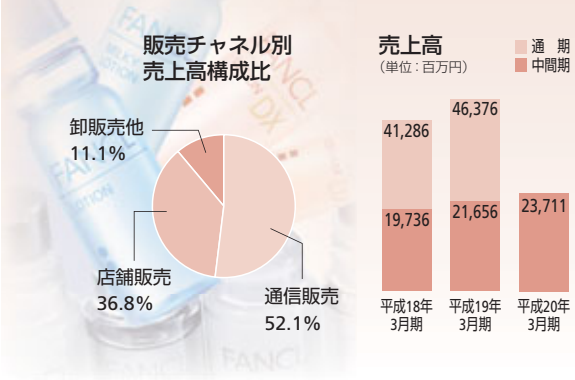
無添加とは肌にやさしいだけでなく、スキンケアの力を最大限に引き出すサイエンス。だからこそ敏感肌の方だけでなく、全ての肌に効果的に働きかけるのです。

当中間期の事業別の業績をお伝えします。
連結売上高は、48,410百万円（前年同期比0.9%増（※3.3%減））となりました。各事業の売上高は、化粧品関連事業23,711百万円（前年同期比9.5%増（※4.5%増））、栄養補助食品関連事業14,929百万円（前年同期比1.3%減（※5.8%減））、その他事業9,768百万円（前年同期比12.7%減（※15.2%減））となりました。

事業別売上高構成比



化粧品関連事業≫

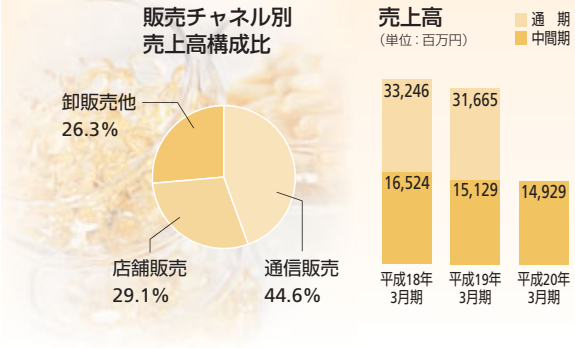


ファンケル化粧品は「マイルドクレンジングオイル」などの定番製品や前期にリニューアルを行ったメーク製品、「ホワイトエッセンス」が好調に推移し、18,480百万円（前年同期比11.4%増（※4.9%増））となりました。**アテニア化粧品**は、昨年9月にリニューアルした基礎化粧品が好調で5,006百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

販売チャネル別では、**通信販売**は基礎化粧品リニューアル前の買い控えの影響で12,352百万円（前年同期比3.1%増（※1.4%減））となりましたが、**店舗販売**は既存店が好調で8,722百万円（前年同期比15.5%増（※8.3%増））、**卸販売他チャネル**は海外向けが好調で2,636百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

下期につきましては、ファンケル化粧品は新スキンケアのマーケティングを引続き強化します。また定番製品の活性化を図り、事業全体の売上増加を目指します。アテニア化粧品はリピート率を向上させ、顧客基盤を強化いたします。

栄養補助食品関連事業≫

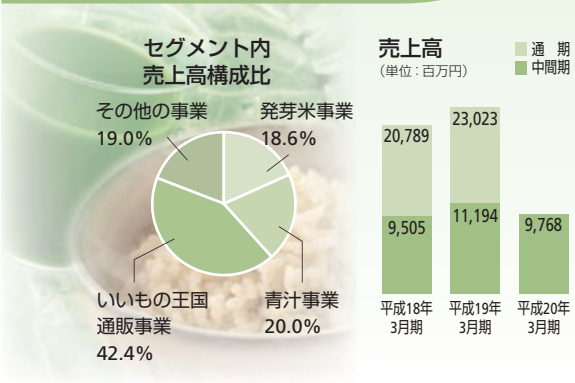


製品面では「HTCコラーゲン」などビューティサプリメントは好調でしたが、「コエンザイムQ10」「α-リポ酸」の売上減少が続き、ハーブ製品や行政指導に従って名称変更を行ったサポートシリーズの売上も低迷しました。

販売チャネル別では、**店舗販売**は既存店が堅調で4,338百万円（前年同期比8.1%増（※1.3%増））となりましたが、**通信販売**は6,664百万円（前年同期比5.2%減（※10.9%減））、**卸販売他チャネル**は3,926百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

下期は、若い女性を中心に好調で継続率が高い「HTCコラーゲン」を重点製品ブランドとして位置付け、主軸製品ブランドに成長させるべくマーケティングを強化し、顧客数の拡大を図ります。また中高年向け製品を強化・拡充するため、新製品群を投入し、中高年市場を開拓してまいります。

その他事業≫



発芽米事業は、4月より20%の値下げをしましたが、販売量の拡大にはつながらず、すべての販売チャネルで前年同期を下回りました。前年は健康情報TV番組で取り上げられ、大きく伸長したこともあって、売上高は1,813百万円（前年同期比29.5%減（※32.4%減））となりました。今後は、焦点をしぼった営業活動を展開し、販売量の拡大を図ります。

青汁事業は、通信販売は顧客数の増加に伴い回復基調にありますが、卸販売が伸びず、売上高は1,959百万円（前年同期比0.4%増（※4.3%減））となりました。下期は粉末タイプのリニューアルなどを実施し、通信販売を中心に売上の拡大を図ります。

いいもの王国通販事業は、前期は好調だったウォーキングシューズや健康機器、ゴルフ用品などの売上が減少し、4,141百万円（前年同期比10.5%減）となりました。下期は冬物商品を強化し、人気商品の新モデルを投入してまいります。

その他は、雑貨・肌着の売上が低迷し、1,854百万円（前年同期比9.4%減（※14.2%減））となりました。

化粧品関連事業≫

新発売

うるおいに満ち、内側から弾む肌へ

リファイニング エッセンス

小ジワ、くすみ、乾燥といった肌悩みを感じ始めた方向けの総合美容液です。アミノ酸を肌の奥まで届ける「アミノカプセル」と肌がみずから元気になる力をつける「加水分解酵母液」を配合。内側から弾む肌に整えます。

新発売

保湿しながらひきしめケア

ボディローション α（アルファ）

新しいダイエット成分として注目を集めている「α-リポ酸」を日本で初めて化粧品に配合。当社独自の研究でひきしめ効果を確認した「マロニエエキス」「クリサンテルムインジクムエキス」なども加え、1本で「ひきしめ」と「うるおい」を実感できるボディ用美容液です。

新発売

男性の肌をスッキリとケア

無添加メンズケア

皮脂が多くべたつきやすい、毎日のヒゲそりで肌荒れをしやすいなど、男性特有の肌トラブルに対応。「皮脂」「うるおい」「バリア機能」のそれぞれに対応する成分を配合し、男性の肌を健やかに整えます。化粧液、乳液のほか、ヒゲそり用のローションとジェル・美容液をラインアップ。

アテニア

新発売

つるつる、やわらか、
生まれたてのベビースキンへ

スキンリニューエッセンス

これまで角質ケアでは古い角質を取り除くことが主流でしたが、最新の研究で角層が持つ美肌をキープする機能が判明。その働きを最大限に引き出すため「角層を育む」という新発想のもと開発した美容液です。

栄養補助食品関連事業≫

新発売

肉体疲労時の栄養補給・滋養強壮に

ファンケル α（アルファ）錠 ＜医薬部外品＞

チュアブル2錠にタウリン1,000mgを配合。チュアブルタイプなのでシーンを選ばず、また水なしで手軽に摂れます。タウリンのほかビタミンB_1、ビタミンB_2、ビタミンB_6、ビタミンCも含まれており、効果・効能が認められた医薬部外品です。

新発売

ビフィズス菌を増やして
おなかスッキリ

おなかピオ

プロピオン酸菌による乳清発酵物のチカラで、腸内のビフィズス菌を増やすチュアブルタイプの錠剤です。さわやかなヨーグルト風味で、携帯に便利な個別包装。元気においしく腸を整えます。

特定保健用食品＜トクホ＞
体調を整えるなどの働きがある成分を加工した食品で、その効果や安全性が科学的に評価され、健康に有効であることを表示してもよいと厚生労働大臣が許可した食品。

リニューアル新発売

しなやかな動きのために

グルコサミン ほがらか（旧 楽節サポート）

「楽節サポート」が製品名を変え「グルコサミン ほがらか」としてリニューアル。柔軟な動きを助けるコンドロイチンやグルコサミン、Ⅱ型コラーゲンなどをパワーアップして配合。曲げ伸ばしや階段の昇り降りがつらいなど、ふしぶしの健康が気になる方におすすめです。

数量限定発売

大人気のHTCコラーゲンが飲むゼリーに

HTC®コラーゲンゼリー

HTCコラーゲン2,600mgとコラーゲン生成に欠かせないビタミンC、美容成分コエンザイムQ10を一緒に摂ることができる、マスカット風味のゼリー形状サプリメントです。腹持ちがよく、18kcalとカロリーも控えめです。

HTCコラーゲン
コラーゲンを1000分の1サイズに細かくカットした当社独自成分。通常のコラーゲンよりも吸収されやすく、また経口摂取すると、ダメージを受けた皮膚中のコラーゲン量が通常のコラーゲン摂取時に比べて増加することがわかっています。

その他事業≫

数量限定発売

カロリー低めで、無添加で安心なおやつ

発芽米 健康ポップライス 和風カレー

発芽米の栄養を手軽に摂れる人気のポップライスに、カレー味が数量限定で新登場。厳選した10種類のスパイスを配合し、家族みんなでお楽しみいただける懐かしい和風カレー味に仕上げました。

数量限定発売

1日分の緑黄色野菜と果物がセットに

青汁 ケールと果実の充実搾りセット

国内産ケール100%の「スーパー青汁」と5種類の果実をブレンドした果汁を15袋ずつセット。さらに青汁と果汁1パックにそれぞれ1日に必要な緑黄色野菜120g、果汁200gを贅沢に使用。ケール同様、品質にもこだわり、5種類の果実もすべて国内産を使用しています。青汁と果汁を混ぜあわせると、青汁の苦手な方でもおいしくいただけます。

数量限定発売

1食で1日に必要な緑黄色野菜120g分使用

彩り野菜カレー

野菜の王様「ケール」をはじめとした9種類の野菜のうまみとコクを凝縮した贅沢な1品です。1食分に1日に必要な緑黄色野菜120g分を使用。当社オリジナル調合スパイスで爽やかな香味を演出。畜肉や畜肉加工品を一切使用せず、隠し味のチーズでまろやかな味わいに仕上げました。

ファンケルの企業広報活動

当社は、創業以来、世の中の「不」の解消を目指し、事業活動に取り組んでまいりました。すべては「お客様に喜んでいただきたい」という想いに由来します。企業CM・番組を通して、「安心・安全・やさしさ」を追求してきたファンケルの想いを伝えてまいります。

企業CM（平成19年4月～9月放送）

CMの前半はモノクロの写真で世の中の「不」を、後半はカラーの動画で「不」に向き合い、その解消に努めてきたファンケルの姿勢と想いを描いています。

「つぎの『不』はなんだろう」をキーワードに、実際にファンケルグループで働く従業員たちが職場でひたむきに仕事と向き合うさまざまな姿から、お客様の不を解消したいと願うファンケルの想いを伝えています。

「優しさと感動のこだま」（平成19年4月～11月30日現在放送中）

当社の提供番組「優しさと感動のこだま」は、すべて実体験に基づくストーリーで構成されたアニメーション番組です。素晴らしい出会いや心温まる出来事などが、ほのぼのとしたタッチで紹介されています。「人間大好き企業」として、すこしでも番組を見た方に感動が伝わり、心が豊かになっていただければという想いで番組を制作しています。

＃1『豊かな感情に感動』

あらすじ：重度の心身障がいのある方のための通所施設を訪問した、ある会社の社長。イキイキとした表情の通所者達や、施設長の信念に感動し、なんとか手助けがしたいと考えます。そして、社長が出した答えとは？

「優しさと感動のこだま」BSフジ・毎週水曜・金曜日20：55～
番組ホームページで放送が終了した各話の映像を見ることができます。http://www.bsfuji.tv/kodama/

新ポイントサービスがスタート

来年4月1日よりポイントサービスをリニューアルいたします。新ポイントサービスは、1年間のお買い上げ累計金額（税込）に応じて翌1年間のポイント還元率が変わるサービスです。より多くお買い求めいただくほど、よりお得になります。今後につきましても、より良いサービスの提供に努めてまいります。

現在の「ポイントサービス」
お買い上げ金額に対し、一律5%分のポイントを還元。
（インターネット：6%分）
［平成20年3月31日（月）まで］

「新ポイントサービス」
1年間のお買い上げ累計額に応じて、
翌1年間のポイント還元率を決定。
［平成20年4月1日（火）より］

ファンケルクラシック基金設立

8月に裾野カンツリー倶楽部（静岡県）で、PGAシニアツアー「ファンケルクラシック」が開催されました。当社は平成12年の大会開始時より地元裾野市への寄付を行ってまいりましたが、社会・地域の皆さまへの貢献活動をさらに充実させるため、この度『ファンケルクラシック基金』を設立。選手やプロアマ戦の参加者、出展団体、そしてギャラリーの皆さまから、さまざまな形でチャリティにご協力いただきました。基金設立1年目の今年は、裾野市、訪問の家、富士山基金、GREEN STYLE基金、ピンクリボン運動に合計145万円を寄付いたしました。

今後も当社は、社会の中にある不安や不便などの「不」の解消を企業理念とした「社会問題解決企業」を目指してまいります。

チャリティ募金コーナー

ペットボトルのキャップを集めて、ワクチン購入の寄付金にする「エコキャップ運動」に協力

株主優待のご報告

株主優待制度では、昨年に引続き、社会貢献活動への参加（ご寄付）をお選びいただけるようにいたしました。今年度のご寄付の方法は、株主さまから頂戴したお声をもとに、1口2,500円からご参加いただけるようにいたしました。その結果、**1,607名**の株主さまよりご賛同いただき、昨年度と比較し4倍以上の、合計**4,422,500円**もの寄付金が集まりました。寄付金は、社会福祉法人「訪問の家」に、12月に開催する当社との交流会の中で贈呈させていただきます。株主の皆さまのあたたかいお気持ちに心より感謝申し上げます。

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前中間期 平成18年9月30日現在	当中間期 平成19年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在
（資産の部）			
流動資産	43,793	50,153	49,570
現金及び預金	15,689	13,875	14,303
受取手形及び売掛金	10,010	9,461	9,983
有価証券	9,910	17,797	16,294
たな卸資産	6,414	6,728	6,746
その他の流動資産	1,768	2,290	2,242
固定資産	40,742	37,367	37,360
有形固定資産	25,857	24,567	24,963
建物及び構築物	12,165	11,176	11,582
その他の有形固定資産	13,692	13,390	13,380
無形固定資産	1,974	2,922	2,761
投資その他の資産	12,909	9,878	9,635
投資有価証券	2,018	1,309	830
長期貸付金	694	661	655
保証金	2,669	2,687	2,684
その他の投資その他の資産	7,527	5,219	5,464
資産合計	84,535	87,521	86,931
（負債の部）			
流動負債	10,157	12,565	12,869
支払手形及び買掛金	3,548	3,292	3,741
その他の流動負債	6,609	9,272	9,127
固定負債	1,860	2,425	2,500
負債合計	12,018	14,991	15,370
（純資産の部）			
株主資本	72,458	72,346	71,399
資本金	10,795	10,795	10,795
資本剰余金	11,855	11,867	11,852
利益剰余金	56,262	57,123	56,451
自己株式	△6,455	△7,438	△7,699
評価・換算差額等	52	37	50
その他有価証券評価差額金	57	42	54
為替換算調整勘定	△4	△4	△4
新株予約権	6	146	111
純資産合計	72,517	72,530	71,560
負債・純資産合計	84,535	87,521	86,931

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成18年4月 1日 至 平成18年9月30日	当中間期 自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日	前期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日
売上高	47,980	48,410	101,065
売上原価	16,965	15,766	33,895
売上総利益	31,015	32,643	67,170
販売費及び一般管理費	28,338	29,282	58,800
営業利益	2,676	3,360	8,370
営業外収益	342	394	621
営業外費用	192	246	603
経常利益	2,826	3,508	8,388
特別利益	0	—	641
特別損失	264	310	3,983
税金等調整前中間（当期）純利益	2,562	3,197	5,045
法人税、住民税及び事業税	966	1,586	3,292
法人税等調整額	14	172	△793
中間（当期）純利益	1,581	1,439	2,547

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成18年4月 1日 至 平成18年9月30日	当中間期 自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日	前期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	110	3,260	6,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	2,512	△1,733
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465	△517	△2,495
現金及び現金同等物に係る換算差額（差益：△）	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△2,677	5,256	2,243
現金及び現金同等物期首残高	21,167	23,411	21,167
現金及び現金同等物中間期末（期末）残高	18,490	28,667	23,411

中間連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	10,795	11,852	56,451	△7,699	71,399	54	△4	50	111	71,560
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△767	—	△767	—	—	—	—	△767
中間純利益	—	—	1,439	—	1,439	—	—	—	—	1,439
自己株式の取得	—	—	—	△2	△2	—	—	—	—	△2
自己株式の処分	—	14	—	263	278	—	—	—	—	278
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	△12	—	△12	34	21
中間連結会計期間中の変動額合計	—	14	671	261	947	△12	—	△12	34	969
平成19年9月30日残高	10,795	11,867	57,123	△7,438	72,346	42	△4	37	146	72,530

会社情報

（平成19年9月30日現在）

会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-I200（代表）
設立	昭和56年8月
資本金	10,795百万円
従業員数	710名 （臨時従業員は除く）
主な取引銀行	三菱東京UFJ銀行 みずほコーポレート銀行 三井住友銀行

役員

取締役 会長	藤原 謙次
代表取締役 社長執行役員	宮島 和美
代表取締役 副社長執行役員	田多井 毅
取締役 専務執行役員	成松 義文
取締役 常務執行役員	池森 行夫
取締役 常務執行役員	西川 満
取締役 執行役員	龍地 敏典
取締役 執行役員	矢島 明
取締役 執行役員	島田 和幸
取締役 執行役員	辻 智子
取締役 執行役員	須釜 憲一
取締役	飯田 順二
取締役	早川 吉春
取締役	岩倉 正和
執行役員	村上 晴紀
執行役員	片瀬 信郎
執行役員	山口 友近
執行役員	加瀬 敬広
執行役員	山岡 美奈子
常勤監査役	山田 鯛二
常勤監査役	池田 文子
監査役	小関 勝紀
監査役	飛島 章

（注）1. 取締役の早川吉春、岩倉正和の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役の山田鯛二、池田文子、小関勝紀および飛島章の4氏は、社外監査役であります。

連結子会社一覧

会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
（株）アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年2月	100%	化粧品・栄養補助食品の販売
ニコスター（株）	横浜市栄区	10百万円	昭和59年9月	100%	化粧品の製造
（株）いいもの王国	東京都渋谷区	196百万円	昭和37年12月	81.6%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
（株）ファンケル発芽玄米	長野県東御市	95百万円	平成11年8月	71.6%	発芽米の製造・販売
FANCL ASIA (PTE) LTD	シンガポール	875百万円	平成12年3月	100%	化粧品・栄養補助食品等の販売
（株）ファンケル美健	横浜市栄区	100百万円	平成14年10月	100%	化粧品・栄養補助食品の製造

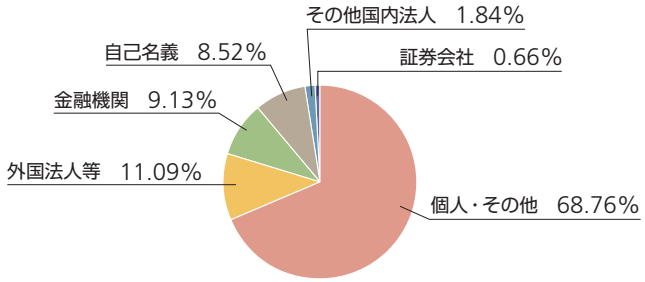
株式情報

（平成19年9月30日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証1部）
発行可能株式総数	233,838,000株
発行済株式の総数	70,176,600株
株主数	65,819名

所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月中
期末配当基準日	3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部 0120-288-324（通話料金無料）
同取次所	みずほ信託銀行株式会社　全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店
公告の方法	電子公告（当社ホームページ　http://www.fancl.co.jp/）

＊当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

0120-288-324（通話料金無料）　インターネットアドレス http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/

株式会社ファンケル
横浜市中区山下町89-1 〒231-8528
Tel. 045-226-1200（代表）
www.fancl.co.jp
当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

FANCL

Waterless Printing Naturally

Vegetable INK for waterless printing
Non Volatile Organic Compounds

ミックス品
FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-003773
© 1996 Forest Stewardship Council